

第 45 回(2019 年度)地域安全学会研究発表会(秋季)に参加しました(2019/11/1-2)

場所：静岡県立大学 草薙キャンパス（静岡県静岡市）

参加者：佐藤翔輔准教授，新家（M2），門倉（M1）

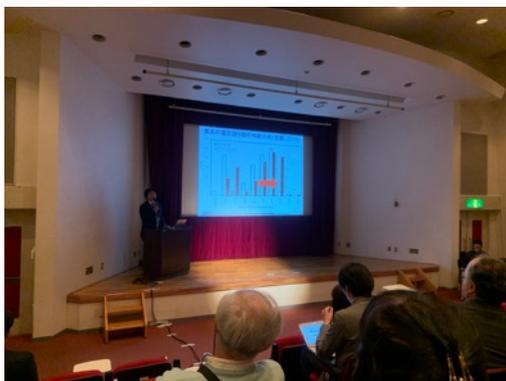
11月1日(金)～2日(土)の2日間，静岡県立大学 草薙キャンパス（静岡県静岡市）で地域安全学会の秋季研究発表会が開催されました。地域安全学会は，研究者，技術者，国や地方自治体の実務家などによる，自然災害や人為災害を対象として地域の安全問題に関する研究を行う学会です。当研究室からは，査読論文の口頭発表で2名，一般論文発表では1名，計3名が参加しました。著者及び論文名は次の通りです。

【査読付きセッション】

- 佐藤翔輔，邑本俊亮，新国佳祐，今村文彦：震災体験の「語り」が生理・心理・記憶に及ぼす影響：語り部本人・弟子・映像・音声・テキストの違いに着目した実験的研究
- 門倉七海，佐藤翔輔，今村文彦：仙台市震災復興メモリアル施設の利用実態と利用評価に関する調査分析 -せんだい 3.11 メモリアル交流館と震災遺構仙台市立荒浜小学校-

【一般セッション】

- 新家杏奈，佐藤翔輔，今村文彦：思考・行動の変化に着目したインタビュー調査による津波避難行動過程の事例分析 -東日本大震災時の気仙沼市波路上エリアを対象にして-



佐藤翔輔准教授の研究発表



新家（M2）のポスター発表



門倉（M1）の研究発表



会場の様子

（文責：門倉）